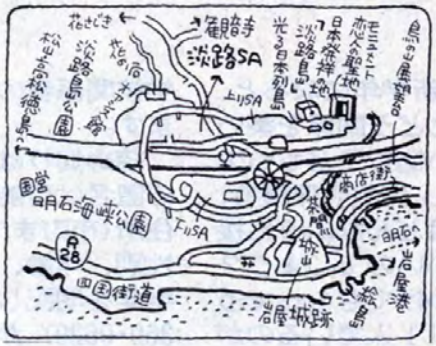
彫画 あかしの歴史風景

淡路ハイウェイオアシス付近

城山を背に弧描く街

冬晴れのひととき、オアシス館の花の谷から「橋の見える丘」の広場へ。明石海峡大橋越しに対岸の神戸・明石が一望。眼下に漁船の船溜まり、城山を背に岩屋の街並みが弧を描く。正面に「恋人の聖地」のハートライトゲートが立つ。古事記や日本書紀に現れる国土創造の国生み神話の伊弉諾・伊弉冉の夫婦神が「天の沼矛」を手にした図入り石碑。蓄光材で表現した日本地図などがあり、夜には光の幻想の世界が展開される広場。

（次回は2月12日に掲載予定です）



絵・文　伊藤太一